

	授業科目の名称	授業科目の概要
ビジネス・社会実装系	技術経営と社会構想	先端技術をどうやってビジネスにし、社会を変えるかを実際の企業のケーススタディ(成功・失敗事例)を用いて議論する演習。ビジネスモデルを図解し、利益と社会的価値をどう両立させるかを議論するプロセスを通じ、技術経営(MOT)や経営戦略論の学理を実践的に学ぶ。技術の優位性を市場価値へと変換しマネジメントする力を養う。
	メイカーズビジネス論	技術を「利益最大化の手段」ではなく「人の幸福と社会のあり方を再構想する手段」として捉え直し、地域コミュニティ、ケア、コモンズ、ウェルビーイングといった現代的価値からビジネスを設計する演習的講義。里山経済やソーシャルビジネス、デザインフィクションの事例を題材に、製品やサービスだけでなく、コミュニティ・生き方・文化そのものを構想するプロセスを通じ、ソーシャルイノベーションの学理を実践的に学ぶ。
	プロジェクトマネジメント	開発プロジェクトにおけるスケジュール遅延、予算超過、メンバー間の意見の衝突といった、実社会の制約下で必ず直面する不確実な「リアルなトラブル」の解決策を模擬体験する実践的演習。アジャイル開発等のプロジェクト管理手法(PMBOK等の標準的学理)をベースに学びつつ、正解のない状況下でチームの駆動力を最大化し、多様なステークホルダーを束ねるためのリーダーシップの役割について、ロールプレイやケーススタディを通じて身体的に検証する。これらの一連のプロセスを通じ、プロジェクト管理論、実践的リーダーシップ論、および合意形成・ファシリテーション論の学理を統合的に修得し、対立を前向きなエネルギーに変えて社会実装を成功に導く力を養う。
	概念実証プロトタイピング	最低限の機能だけを持った試作品(MVP)を素早く開発し、学外のユーザーに実際に使ってもらってデータを取る演習。「自分たちのアイデアに本当に需要があるか」を現場の反応から検証し、素早く方向転換するプロセスを通じ、リーンスタートアップや概念実証(PoC)の学理を実践的に学ぶ。市場の真のニーズを最速で探り当てる実装力を養う。